

東バイパス道路工事に着手

初年度分工事へ延長150m、暫定2車線へ完了

当市の幹線都市計画街路の三つのバイパスについては、国が「西バイパス」、県が「南バイパス」、そして市が「東バイパス」をそれぞれ担当し、早期完成を目指して事業を進めています。市が建設している東バイパスは、東台地内約七百坪の用地購入を終了したことで、六十年度から工事に着手し、このほど延長百五十坪、暫定二車線の改良工事を終了しました。

市が進めている東バイパスは、県道大館・十和田湖線の観音堂地内を起点にして南下、東台へ小柄沢墓園入り柄沢へ狐台の神社付近で南バイパスに直結する約四・二キロの路線です。

このうち、新町線(新町から長根山運動公園へ向う市道)の東台地内から小柄沢墓園へ向う市道七百一十一坪は、五十九年度までに用地購入が終了しました。また、墓地公園入口から南バイパスまでの区間

については、六十年度から用地の購入作業が進められています。

そこで、用地購入の終わった小柄沢墓園入口から新町線へ向って延長三百八十坪の道路改良工事を六十年度から三カ年計画で行うことにしたものです。六十年度では、墓園入口から約百五十坪、幅十二・五坪(計画は二十五坪、四車線)の改良工事が行われ、このほど終了しました。さらに六十一年度でも引き続き二百三十坪を三千万円で改良工事を行い、六十二年度中には通行できるようにになります。

用地購入を終えています。三バイパスとも厳しい財政事情の中で引き続き用地購入などの作業を進め、早期完成を目指していきます。

61年度 広報市民レポーター決まる

皆さんから公募していただきました広報市民レポーターには十六人の方々から応募があり、審査した結果次の六人の方々に決まりました。市民レポーターの方々には、来年三月まで広報編集に参加していただき、皆さんに親しまれる広報づくりをしていきたいと思っております。なお、ご応募くださいました皆さんには心からお礼を申し上げます。

- 〈市民レポーター〉
- ・斎藤 久さん(57歳片山一丁目)
 - ・兎沢君子さん(59歳・白沢)
 - ・野村裕子さん(27歳川口)
 - ・秦 震さん(61歳鉄砲場)
 - ・山石勝子さん(47歳東台一丁目)
 - ・吉田秀人さん(36歳水門町)

このほか、西バイパスは五十八年度から事業が進められ、すでに片山町三丁目地内の用地購入が終っていますし、また南バイパスも約二キロの



5月20~26日県防災週間



災害に備えよう

5月26日——日本海中部地震から3年目を迎えた今年、5月20日から26日まで全県で防災訓練が行われます。当市では、5月26日正午にサイレンを鳴らして防災を訴えるほか、学校や職場で避難訓練などが行われます。皆さんのご家庭でも非常時の際の行動や役割分担について話し合ってください。また非常用品の確認やブロック塀・家具なども点検をしてみてください。

市長の対話ノート

東京サミット雑感

「不況の中だから徹底的に合理性を追求せよ」とよくいわれますし、そうしなければいけない時期だと思えます。しかし、その合理性を単なる経済性つまりソロバン勘定だけで考えたならば、社会は成り立たないのではないのでしょうか。

今月初めに開かれた東京サミットで、円高対策が協議されましたが、結果は空振りに終わったようです。日本だけのソロバン勘定からすれば「むなし」限りでありますが、国際経済社会は非情であります。つまり、情はあるけれども、それは非だという結論であったということとす。経済問題は、情を抜きにしてソロバン勘定だけを優先させて考えてよいものなのでしょうか。

「森林経営は採算がとれない」「国鉄は赤字だ、だから民間にする」といったことでやめることができるのでしょうか。鉱業も農業も国際競争力に勝てないからやめろということになるのでしょうか。勝てるもの、勝てないもののバランスをとることこそ経済力であり、政治でなければならぬと思えます。東京サミットの結果を見て、特にそのことを痛感したのは、一人私だけではないと思えます。



No.131